

勝福寺寺報 ひびき

お念仏と共に ～ 如来に念じられて生きていこう ～



始皇帝



「シルクロード」という言葉には、日常の些事を忘れさせ、しばし悠久の時空に人を導く響きがある。信くんと風さんが寺務を手伝ってくれるようになったので、この夏、思い切ってシルクロードの旅に出かけてみた。

シルクロードの出发点である西安では、秦の始皇帝の兵馬俑を見学した。発掘された八千体の兵士や馬の姿は一つ一つ違い、今にも声を発して動き出しそうであった。この兵馬俑も、始皇帝陵のごく一部に過ぎないという。しかも、これだけのものが紀元前三世紀に造られたというのだから、ただただ驚きいるばかりであった。

しかし、よくよく考えてみれば、この陵墓ほど愚かで、罪深きものはないのではないか。三十八年の歳月と数十万の人々を使役して造ったというが、いったい何のためだったのか？ それはひとえに、死を畏れ、死後の世界でも皇帝であろうとした始皇帝一人のためである。

いくら壮大な墓を造って威張ってみても、悠久の大地を前にしては、目くそ鼻くそその類いにしか過ぎない。二千年後には掘り出されて見世物にされるのが関の山である。

永遠はどこにあるのか？ 永遠は千年、万年と長生きする先にあるのではない。永遠は今の一瞬の足下にある。今こそ永遠の現れ出た相なのだ。南無阿弥陀仏と、念仏申しいていくならば、やがてそのことがうなずけてくる。

始皇帝は人間の哀しき自我の象徴であろう。そんなこと

ご門徒さん いっしょにやっ！ (第五回)

お寺のお世話だけでなく地域やいろんなサークルのお世話をやっておられる四日市の常徳にお住まいの渡辺末子さんを今回はおたずねしました。

今年六十歳を迎える末子さんは北馬城出身で名前の通り六人兄弟の末っ子です。

学校を卒業して県の臨時職員をしていた時、職場のレクレーションで知り合ったご主人の和義さんと結婚されました。大分市に住まわられていましたが、末期癌の義父と認知症の義母の介護のため十八年前に宇佐に戻ってこられました。

しかし、最初は二人の重病人を抱えてやっていかれるかとても心配だったそうです。加えて子供たちも慣れない宇佐に転校したのでストレスが強く、高校入学直前に宇佐に変わった長女は

高校で親しい友達はどうとう出来なかったそうです。次女は短い期間ですが登校拒否になりました。原因は転校のストレスに加えて、認知症で攻撃的になった義母にきつく当たられ、苦しむ母の姿に心を痛めたのも原因の一つだったそうです。でも、この子が話し相手になってくれてとても助けら

した。この間、義母を介護するなかで認知症に対する世間の理解不足を強く感じました。そのため、外で遊ぶ機会の多い子供達に自分の経験を話すことで少しでも理解を深めてもらおうと思ひ、認知症家族の会の会員と一緒に近くの小学校で講話を始めました。義母は徘徊の症状が顕著

書いてあり、末子さん達のお寺や仏法の教えに出会え思いが伝わったようです。今ではこの取り組みは家族の会が県下全域で行っているそうです。

末子さんとお寺のご縁はお参りに見える坊守さんのお誘いや、ご主人の勧めで、お寺に通うようになりました。そして仏教婦人会に入り、やがて会の役員をする

お寺や仏法の教えに出会えたことでも大切に思っています。とあくまで謙虚な末子さんでした。

総代をなされているご主人の和義さんは二人の生活を、煩惱の多い二人だから、真宗宗歌の中にあるように「後も」「みくへの旅を共にする同行、同朋であつて欲しいし、自分もそうでありたい」と述べてくれました。

お互いに相手を理解し尊重しあう、とっても素敵なお夫婦でした。(渡辺重昭)

感謝の心を忘れない

渡辺末子 (常德)



悩む末子さんに職場で知り合った友達から「あなたに出来る範囲のことだけすればいいのよ」の助言で、

で、一度は求菩提山の麓まで自転車で行っていたそうです。そのときは警察が近隣に手配してくれたので、無事保護されました。

そんな末子さんの話を聞いた子供は「そんなに遠くまで行くなんて信じられない。自分も近くで見かけたことのないお年寄りを

勝福寺の存在を尋ねると「お寺があったからこま

義父や義母を恨みたかったけど「だれも恨む必要はない。自分に出来る範囲のことだけすればいいんだ」と

その義父も十八年前に、義母も六年前に亡くなりま

かたり、怖がらずに声をかけたり、近くの大人に知

とが多くなる。そんな時にご夫婦でした。(渡辺重昭)

シルクロード旅行記

阿部 正紀 (福岡県吉富町)

七月二十一日、勝福寺ご住職、中園尚武さん、および筆者の三人でシルクロードの旅にでかけた。日程は八日間。朝九時五十分福岡空港発、途中上海で国内便に乗換え、午後四時五十分目的地、西安に到着。

【一、西安】

日本人には馴染みの深い秦漢から隋・唐時代の都、長安である。

インド起源の仏教はシルクロードを通り、長安で加工醸成された。聖徳太子により積極的に取り込まれて現在の日本仏教がある。西安を数日で観て回ることは到底不可能。見逃してはいけな



始皇帝は紀元前三世紀の中国戦国時代を最初に統一した皇帝。自分の死後の陵墓の造成に七十万人の労力と財力をつぎ込んだ。兵馬俑は陵墓を守る副葬品として造られた兵士や軍馬の陶製の像。二千年以上地下に眠っていた像が、今から四十年前、偶然に畑の中で発見された。八千体の像は一つとして同一の像はなく、忠実に秦軍の構成を再現しているといわれる。像の立ち並ぶ姿は壮観である。

【二、敦煌】

西安からは寝台列車で二十四時間の長旅である。中国西域の広大さを実感するには鉄道旅行が相応しい。荒涼とし

た砂漠地帯が続く。

敦煌は漢の時代から西域への実質の出発点であった。古代の関所跡、玉門関および陽関に向かう。玉門関も陽関も二千年以上の激しい砂漠の嵐に曝されて現在は風化された城壁が残るのみ。西は見渡す限りの砂漠である。翌日は砂漠の砂山が連なる鳴沙山へ。

ラクダに乗って砂漠横断の気分を少し体験する。



西域旅行の最大の目玉は、敦煌の莫高窟の壁画、仏像群であろう。莫高窟は鳴沙山の東端にある断崖に掘られた石窟群で、石窟の長さは南北千六百米におよぶ。石窟の数は七三五窟。制作年数は五世紀から十五世紀の千年に及ぶ。石窟は天井、側壁の壁画と石窟の中央に置かれた塑像と石窟とからなる。我々が日頃見る日本の仏像は、繊細で洗練された神秘的な姿である



この像はリアルで明るくて素朴な仏像が多い。天井壁画は見事である。小さな仏の像がビッシリと書き込まれ。書き残した空きスペースはない。いずれにしろ像も壁画も数の多さに圧倒される。当時の民衆の仏様に頼む願いの強さ、持続性を実感できる。この砂漠地帯に確実に仏教文化が花開いていたといえる。残念ながら、現在の中国は社会主義国であり、仏教に温かい国ではないのである。

【三、トルファン】

敦煌よりトルファンまでは十時間ほどの列車旅。もうここは新疆ウイグル自治区である。トルファンは盆地として有名で、市の中心部は海拔マイナス百五十メートル、年間降雨量は十六ミリと超乾燥地帯。最高気温四九・六度を記録している。苛烈な気候なるが故

に別名、火州ともいわれる。ところがよくしたもので、オアシスで緑は多い。カレーズといって地下水脈は総延長五千キロ以上、井戸は千二百本以上もある。その地下水を農業に利用するのである。葡萄、瓜、西瓜などの一大産地である。天然の干し葡萄、これがじつに美味しい。

【四、ウルムチ】

トルファンからは百八十キロほど西。新疆ウイグル自治区の省都。人口約二百六十万人で、砂漠の中に突然大阪市並みの都会があらわれる。高層ビルの林立である。



トルファンとい、砂漠のど真ん中である。荒涼たる砂漠にもめげず生き抜いてゆく中国人にある種の感動を覚える。

Jazz Live 仏さまも一緒に

八月十九日の十六時と二十時の二回、勝福寺本堂でジャズのコンサートが開かれました。

演奏者には藤谷信さんがニューヨーク時代に一緒に演奏活動をしてきたピアノニースの権上康志さんの二人をお招きしました。

本堂いっばいに集まった老若男女の皆さんに本場のジャズの演奏を一時半にわたって楽しんで頂きました。



新しい風

香田 紀子 (豊川)

八月十九日「ジャズの演奏会」がありました。始めに信ちゃんから「Jazzでは、チケット代のほかに、応援の気持ちも払ってもらいたい」と、拍手の練習から始まりました。

ピアノ二見勇気さん、ベース権上康志さん、ドラム藤谷信さん。ジャズを聴くにはピッチタシの暑い夏の宵、如来さまの前で満堂の皆さまと生演奏を聴かせて頂きました。高校生の頃、彼は大変悩ん

演奏を終えて

藤谷信 (勝福寺)

八月十九日には、ジャズのコンサートを開かせて頂きありがとうございました。たくさんの方の力で、見に来てくれた方々にも喜んで頂けました。

私の方は、それまでの練習や準備で疲れ果ててしまい、ここまでやって演奏者として一銭も

でおりました。「おぼちゃん、頼みがあるんだけど」「何んね?」「ドラムを買いたいんやけど、えませんでした。」

受け取りの住所が確定でないと売ってくれんよ。おぼちゃん家を借してくれん?」「どうして?」「お金は貯めて持って来ましたが、親が反対で返事をしてくれん」「いいよ、この小屋で練習しよ。」

こんな経緯もあったが、やがて彼はドラムと共に東京の大学へと出発しました。あれから十余年、如何ほどの御苦労されたことでしょうか。今、勝福寺で

もらえないし、お寺や手伝ってくれた方々へのお礼も売り上げ金からも出ないし、周りの方にも迷惑かけて、なんだかなあ……という思いです。

自分自身のお金への執着やら、手放したくさんの人と一緒に喜べるかということなど、いろいろと課題が残りました。またみんな何かしら会を作れたらと思っています。ありがとうございます！

研修旅行

参加者募集

二年に一度の研修旅行。今年は四国方面です。メインは伊方原発の見学です。原発を推進している四国電力と、反対運動をしている人と、両方から意見を聞きます。あとはお楽しみの懇親会と、四国散策です。皆さんの参加をお待ちしています。

【11月3日】

勝福寺 8時出発
佐賀関港→三崎港
伊方原発ビクターハウス
伊予かすり館
道後温泉ホテル椿館

【11月4日】

懇親会
子規堂
坂の上の雲ミュージアム
臥龍山荘・おはなはん通り
勝福寺 17時到着



定員 40名
参加費 二万四千元
締め切り 10月15日
申込先 勝福寺・総代

平和の鐘によせて

池田英徳（四日市）



八月や六日九日一五日

諫見勝則

城井一号掩体壕の横に

鎮魂」と刻された碑があ
ります。その横にずらつと
句碑が並んでいます。その
一番最初の句が冒頭の句
一九四五年の八月。六日
は広島、九日は長崎の原
爆忌、そして十五日の終
戦記念日。二度とあつては
ならない戦争の八月を五
七五に封印した名句です。
その平和記念公園を整
備することや、八月十五
日の夜に「平和の灯」の行
事を企画し、城井子ども
会のみなさんが「ふるさと
を合唱する姿を見てやっ
と戦友のところにいける」
と話した伯父はもういま
せん。戦争だ
けはし
てはな
らんの
爆はし
らんの
じゃ」と
いう父や
伯父の
言葉を
かみしめ
ています。



おてらのがつしゅく



むくの ゆめ
(院内北部小1年)

しょうふくじさん、こんにちは。
がっしゅくのとき、おせわになり
ました。しつてることがいなくて、
はじめは、どきどきしました。
でも、たきにいったときに、こ
えをかけてくれたのがいてうれし
かったです。たきがとちゅうでふ
かくなったので、きんちようしま
した。ぼーとにのったときに、こ
げなかつたけど、たのしかつたで
す。そのあとすいかわりをしたと
き、すいかにうまくあたらないな
かったので、われなかつたです。おて
らにかえつてごはんをたべました。
おいしかつたです。はじめてかや
をつかつてねました。よくねわれ
ました。
ふつかめのまじつがすごかつ
たです。またいきたいです。

私のくらし

奥永愛子（三光）

我が家を平成十一年に
新築しました。趣味のつ
づらかずらの作品や、紙
で作った人形や、友人か
ら頂いた古い布で作った
物等飾っています。三光
のコスモス祭りでは、つ
づらかずらを編んだ作品
を展示販売しています。

地区では、地区民の誰
でもが参加出来るサロ
ンやお話し会を公民館で月
に各一回行っています。
民生委員やボランティア
五人位で協力して行つて
います。社協からも健康
チェック、体操、ゲーム
等指導してもらつていま
す。昼食はボランティア
による手作りの食事を皆
で楽しくいただきます。
参加費は材料費で参百円
集めます。



前回はサロンの余興と
して勝福寺の奥様による
腹話術をお願いしました。
ア活動に参加して少しで
も人の役に立てばと前向
きに皆、笑顔で大いに楽し
き思考で頑張っています。
次 これからも健康に気をつ
けて続けられたらと思っ
ています。

真宗門徒のまめ知識

「お盆」

お盆の帰省ラッシュを見るたびに、
人にはそれぞれ帰る家があるんだな、
待っている人、会いたい人がいるんだな
ナと思わされます。そしてテレビに映
される孫と祖父の再会と別れの光
景には、心があたたかになります。
お盆は「孟蘭盆経」に、神通力を得た
目連尊者が母親を捜したところ餓鬼
道に落ちて苦しんでいるのを発見し、
仏様の教えに順つて、修行のあけた僧
達に布施供養をしたことで母を救っ
たとある話に由来すると言われます。
なつてからは、親鸞聖人の「親鸞は

この経典は偽経らしいですが、私達の
心情に近いものがあります。
私の子供の頃は、お盆のお迎えには
帰りに提灯をつけて、その灯にご先祖
様を乗せてのだから消さないように
と注意されました。それから三日間、
ご先祖様分のそうめんやおかずをお
盆にのせて、南天のおはしを添えまし
た。仏壇の隅には「無縁さま」の分もお
供えしました。読経や盆踊りで供養
をし、三日目の朝は子供やお団子
を薫つとに包んで川に流し、夕方には
お墓まで送つていきました。
真宗門徒になり寺に暮らすように
なつてからは、親鸞聖人の「親鸞は
父母の孝養のためとて、一返にても念
仏申したること、いまだそうらわす。
そのゆえは、一切の有情は、みなもつて
世々生々の父母兄弟なり。いずれ
もいずれも、この順次生に仏になりて、
助け候うべきなり」というお言葉をか
みしめて、一切の衆生が助からない限
り自分も仏にならないという大慈悲
心を憶念するようになりました。
お内仏はお墓と違つて、ご先祖の帰っ
ていかれた広く大きい浄土を表したも
のです。浄土に還られたご先祖との再
会は、お盆に限りませんが、お盆には
ことに身近かに懐しく有難く思われ
ることです。
(藤谷純子)

炊き出しボランティア

七月三日、熊本（被災者支援）に行つて来ました。 村田 風

今回、炊き出しをするのにあたり、
「みんな、コンビニのおにぎ
りなど冷たいものばかり食べてい
るので、温かいものが食べたい」
という要望を聞いて、夕食として
四百食分のだんご汁を作ることに
しました。熊本では、専福寺とい
うお寺に手伝つて頂きました。炊
き出しの場所は益城町の隣にあた
る熊本市東区にある秋津校区第一
公民館というところです。

それまで炊き出しに出向くとい
うことがどういうことであるのか、
そのだんご汁がどのような暮らし
をしている方々に
届くのか、想像も
できずにいました。
まだまだ多くの方
がプレハブでもな
く、テント暮らし
をする人もいれば、
車中泊して暮らし
ている方がいるとい
うことを目の
当たりにして、や
つと自分のこと
としてどれだけ大
変なことだろう
と想像をするに
至つたのです。ど
もなく、無事に
終えることができ
るような気持ち
でどのような一
日



一日を暮らしているだろうと、想
像するだけでも本当にこころ苦し
いものがあります。
だんご汁を受け
取りに訪れた方々
には、待つて
間に松本一家が
用意していった
七夕の竹に願
いを書い
てもらつたり、
蚊取り線香を
お土産にも
もらつてもら
いました。だ
んご汁は30分
の間にみんな
に行き渡
り、終了。幸
い大きなハ
プニング
もなくて、無
事に終える
ことができました。

〈編集後記〉

本堂に若い人や見知らぬ人が沢山座つ
ていました。お目当ては「盆」のコンサー
ト。おそらくお寺始まつて以来の出来
事ではなかつたでしょうか。
日頃はお寺と縁のない方がほとんど
でしょうが、これが縁でお寺の敷居が
低くなれば、別の意味でも大成功だつ
たと思います。

昔は、お寺が文化や社交でも大切な
位置を占めていました。その意味でも
次回のコンサートを期待すると共に、
勝福寺の情報発信の一翼を担う責任を
感じます。
(渡辺 重昭)

秋季彼岸会 並 永代経法要

十月七日（金）・八日（土）

十一時 物故者追弔会・門徒感話

十二時 ミニ法話（七日・風 八日・信）

十三時半 軽食・チャリティバザー

歌・日本舞踊（七日）

歌・紙芝居（八日）

お勤め・法話

法話（七日・住職）

法話（八日・坊守II腹話術）

*お寺との縁が遠かつた人にもお参り
して頂きたく、このような日程を組み
ました。お誘いあつてお参り下さい。